

# 教育ジャーナル

The Journal of Education

特集 **がんばれ! 公立校!!**

無料

“学校の当たり前”は、  
本当にかえられないものなのか  
中学校の学年担任制／グループ学級担任制

第2特集 **教師力の向上**

「子どもの見取り」——見るだけでなく、読み取って、受け止める  
嶋野道弘先生インタビュー

NewsFLASH 「こども家庭庁」設置関連法が可決——財源確保が課題





# 集中力、向上心、コミュニケーション力… 「けん玉活動」で基礎的な力を高める！

けん玉活動は平成24年度から準備がスタート。今では志津小学校＝けん玉と知られるようになった



休み時間もみんなて個人練習に励む



「みがいた技で、いざ真剣勝負？」  
全校児童 1046 名で取り組むけん玉活動で  
向上心や自尊感情を高め、集中力をつけ、  
根気強さとよりよい人間関係づくりを育む。

写真／草津市立志津小学校 文／草津市立志津小学校校長 山内健嗣

## 創立147年を誇る大規模校

草津市は滋賀県の南部に位置し、旧東海道と中山道が交わる交通の要所として古くから知られています。また、日本最大の淡水湖である琵琶湖に面しており、夏冬四季を問わず観光名所として多くの人でにぎわいます。

本校は、市南東部に位置する青地城址に建つ、創立147年を数える歴史と伝統ある学校です。近年は、交通の利便性から宅地開発が急速に進み、現在、児童数1046名の大規模校となりました。教育目標を「人にやさしく、自分を高め、みんなのために役立ち」とし、「一歩前進」をスローガンに掲げ、教育活動に取り組んでいます。

## 特別活動「けん玉活動」の取組

けん玉活動は、平成24年度に端を発します。当時の校長が校風づくりの一環として、子どもたちが卒業した後、思い出として残るものは何か、を検討されたとき、ある教員から「学級でけん玉をさせたい」との申し出があり、ちょうど同時期に朝のテレビ番組でけん玉活動を行っている学校の紹介があったことで、「やってみよう」と準備が始まりました。

当時の児童数は800名ほどでしたが、肝心のけん玉を校費で購入することもできず、悩んだ結果、支援していただいている教育振興会に相談し、児童数の半分の400個を購入していただくことができました。

最初は2人でペアを組み、けん玉をするものと、回数を数えるものとで分担して活動を



滋賀県／草津市立志津小学校



1年生ができたときには6年生と喜びを共有する



6年生が1年生に技を指導する異学年交流



「けん玉一本勝負」の勝敗が職員室前の掲示板上に掲載される



「けん玉達人」は講師を招いて、ペアで技を競い合う

けん玉の人が高かったら○、失敗したら×を付

達人戦:種目	1回目	2回目
1 どめけん		
2 ひこうき		
3 ふりけん		
4 世界一周		
5 けん先すべり		
6 うぐいす		
7 うらふりけん		
8 つるしどめけん		
9 宇宙一周		
10 地球まわし		
合計(○の数)		

「けん玉達人戦」の種目一覧



月に1回、技を競い合う「けん玉一本勝負」(2年生)



技を競い合う「けん玉対決」



講師を招いて指導を受ける「けん玉教室」(2年生)



講師の方が来校して児童たちに指導を行う



1学年上がると技もランクアップ?(3年生)



練習を重ねてできるようになった技を出せるか



「けん玉教室」では真剣そのもの(2年生)

「けん玉活動」の位置づけ

本校におけるけん玉活動を新学習指導要領が目指すものに位置づけるために、毎年学校経営全体計画に組み込み、校内でのカリキュラム・マネジメントの構築を図りました。

具体的には「1 学校経営全体計画への位置づけ」学校経営全体計画の中にけん玉活動を明文化することで、この活動の意義・目標等を共有できるようにしました。

「2 校内での研修体制の充実と教職員の意欲向上」本校の校務分掌の一つであるけん玉主任が中心となり、実技講習会をもつことで新転任者の不安を払拭し、教員も子どもたちと一緒に楽しむ雰囲気づくりを醸成しました。また、地域の人的支援等を得ることで学級担任の負担軽減の一助にもなると考えました。

「3 教育課程の柔軟化と教科横断的な学習の実施」特別活動として①学級活動/学級や学校における生活や仲間づくりへの参画 ②児童会活動/「けん玉委員会」の設置、「けん玉達人決定戦」「けん玉名人決定戦」等の開催 ③クラブ活動/「けん玉クラブ」の活動 ④学校行事/「全校集会」等における委員会活動の発表等に取り組んでいます。

また、教科横断的な学習として、①外国語活動・外国語科/日本文化の継承と国際理解教育等 ②社会科/伝統文化・伝統産業等 ③図画工作科/「けん玉活動」の生活画・版

進めました。けん玉のよさは、どこでも気軽にできること、子どもも大人(教師)もともに楽しめることや特定の技ができたときの喜び、成就感が得られることです。

また、その魅力や効果として、①集中力が高まること。さまざまな技を習得するためには相応の練習が必要であり、根気強く取り組む忍耐力も必要です。それらの集中力や忍耐力が日頃の学習や生活に生かされると考えました。そして、②コミュニケーション力が高まること。友達同士との教え合いや、異学年との交流等から社会性も身につく、上級生から下級生へ技を伝えるといった伝統も生まれると考えました。さらに、③向上心、自尊感情が高まること。子どもたち全員が練習を重ね、個々に応じて技の難易度が高まります。難しい技への挑戦、できたときの達成感から喜びや満足感が得られるものと考えました。

校内での主な取組として「けん玉一本勝負」があります。毎月1回、さまざまな技を1回のみの挑戦で行い、できた人数を学級単位で競うものです。小・大皿、とめけん、ふりけんなど5つの技の成功率を競います。

これ以外にも、けん玉に関するイベントが数多く開催されてきました。大皿リレーでギネス記録に挑戦したり、日本けん玉協会の公認検定会を実施したり、けん玉名人を招いての講習会なども行いました。

最近では、「全国少年少女けん玉道選手権大会 北関西地区(兵庫・京都・滋賀)代表選考会」において、5年男子が第3位、女子が優勝という輝かしい成績を収め、優勝した女子





「けん玉二本勝負」の結果が表示される



長休みや昼休みを使って個人練習に励む



毎月、優勝した学級に贈られるトロフィー



先生方も技を覚えてスキルアップを図る



先生や職員も、もちろんけん玉活動を実践



協会や地域の方々が共同で練習会を開催



地域のコミュニティセンターで「けん玉広場」を実施

草津市立志津小学校 (山内健嗣校長 児童数 1046名)  
〒525-0041 滋賀県草津市青地町827 TEL. 077-562-0341 FAX. 077-562-6167  
URL = <http://www.shizu-p.skcedu.jp/>

画等 ④生活科/自分で行く「楽しい遊び」等に取組んでいます。

### 地域と「けん玉活動」

本校のけん玉活動は、地域でも熱心に取り組んでいただいています。先述した全国少年少女けん玉道選手権大会の取組も、地域のコミュニティセンターで滋賀県けん玉協会の講師をお招きし、月1回の「けん玉広場」を開催する中で、実力優秀な子どもたちを中心に強化練習会を行って大会に臨みました。

また、年1回の「けん玉大会」や「ふれあい広場」「老人クラブ」などでも、けん玉を使ったプログラムが行われています。

このように、本校のけん玉活動は、コミュニティスクールや地域の活動団体、地域の人的教育資源との連携から成り立っており、学校と地域の双方から同じ目標に向かって活動を進めております。

このけん玉活動を通して、新学習指導要領のうたう「社会に開かれた教育課程」の具現化を目指しています。

活動が実施されて10年がたち、この間、多くの方々からのご支援があつて、活動を充実進化させてくることができました。そして、多くの方々に「志津小といえけん玉活動」と言っていたけりようになりました。

当時の校長が目指していた「校風づくり」や「卒業生の思い出づくり」という当初の目標は、おおむね達成されたように思われます。このすばらしい伝統を今後も絶やさぬよう、皆で継承していきたいと思ひます。